

坂戸市立三芳野小学校学校だより

若葉



みよしのたのむの雁もひたぶるに
君が方にぞよると鳴くなる
わが方によると鳴くなるみよしの
たのむの雁をいつか忘れむ(「伊勢物語」)

のびのびと生きる子…みんなと仲良くする子、よろこんで学ぶ子、しんけんに体をきたえる子
目指す学校像 ○一人ひとりが学校・地域を愛し、より良い自分をめざし、力を発揮する。
○一人ひとりが仲間から必要とされ、互いの良さを認め合う。

《全集中で取り組んだ運動会！》

5月22日(土)、運動会が実施されました。梅雨入りの時期と重なり、当初の計画通りに練習ができなかったところもありましたが、空模様を気にしながら、練習を重ねて本番を迎えることができました。本番当日も空模様を気にしながらでしたが、無事、実施できました。

今年のスローガンは、「全集中 その手で 勝利を 掴みとれ」でした。各組ともそのスローガンのもと、徒競走、学年種目やリレー、応援に集中して取り組んできました。

当日は、昨年同様、新型コロナウイルス感染症対策として、お子さんの競技のみの観戦となりましたが、一人ひとりが一回り成長した姿をご覧いただけたかと思えます。

閉会后、様々な片付けに協力していただいた多くの保護者の皆様には、心より感謝申し上げます。

《地域の学校 三芳野小学校！》

昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、学校が約3ヶ月休校になり、6月から学校が再開となりました。本年度は、4月より新年度の教育活動を開始することができています。新型コロナウイルス感染症対策のため様々な対策を講じての教育活動ではありますが、それでも、昨年のことを思えば、仲間と一緒に学習することの意義を日々感じております。

さて、文部科学省が出した子育てに関する報告書『社会の宝』として子供を育てよう！(平成14年)では次のように記述されています。「子育ては、未来の日本を支える人材を育てる重要な営みです。社会全体が、子育てを応援し、支えていくことが求められています。『社会の宝』として、みんなで子供を育てていきましょう。」

先ほど「仲間と一緒に学習することの意義」と書かせていただきましたが、それも保護者の方、地域の方々の支えがあつてのこと。保護者、地域の方々による登下校の見守り、除草や樹木の剪定等環境整備でお世話になった方、米作りや野菜作りでご指導いただいている方、学校における教育活動そのものが多くの地域の方々に支えられて、成り立っていることを強く感じています。

まさに、三芳野小学校の子供たちは地域の方々に支えられている「地域の学校」であり、ここで学んだ子供たちは、自分の地域の愛着と誇りを持ち、将来は地域に恩返しができるような大人になってほしいものです。

